

# Rotary Club of AMA weekly report.



2018~2019年度 国際ロータリーテーマ  
**インスピレーションに  
なろう**

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル  
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2018-2019年度  
RI会長 バリー・ラシン  
第2760地区ガバナー 村井 総一郎  
会長 大竹 敬一  
副会長 家田 安啓  
幹事 加藤 徹

例会日 毎週月曜  
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】  
委員長 山田 広明・神戸 剛  
伊藤 英毅・山田 幸治

## 2019年3月11日（曇り） 第2週 第2265回例会

Song ” 日も風も星も ”

### Attendance

会員	78名	欠席	10名	出席率	84.84%
----	-----	----	-----	-----	--------

### 2月分修正出席率の報告

2月 4日出席率	100%	欠席	0名
2月16日出席率	100%	欠席	0名
2月25日出席率	100%	欠席	0名

### President Time

大竹敬一 会長



昨年の会長挨拶は、自然災害の話が多く今年はどうなるかというつもりだと申し上げました。また、少なくともよい年になることを望みますとも申しました。今日は別です。8年前の今日、あの東日本大震災が起こりました。近年の災害で一般的に大震災と呼ばれているのは、関東大震災、阪神淡路大震災、そして東日本大震災です。とりわけ東日本大震災は、前代未聞の大津波にもより、その範囲の広さ、被災者の数、そして福島原発などの後遺症と、今も日本に影響を及ぼしています。私たちは決して忘れることのないこの災害を、今日という日にまた再認識するのです。また、東南海地震など、この地方にもいつ来るかもしれない自然

災害への備えを怠ってはいけないと思います。弊社でも、改めて耐震検査を行ったりして、もう一度工場などの安全を見直そうと思っています。

さて、話は打って変わって今日の卓話者のご紹介をさせていただきます。本日は瀬戸の陶芸家・加藤令吉氏に卓話をお願いしました。加藤令吉さんはロータリアンで、瀬戸RCのバスター会長、東尾張分区のバスターガバナー補佐なども歴任されています。そこで今日は「陶芸家が語る私の職業奉仕」というタイトルでお話いただきます。加藤令吉先生と私は青年会議所時代に知り合いました。私の父・大竹和美初代会長は、令吉先生のお父様の加藤鈿先生とCBCクラブなどで入魂にさせていただいておりました。そんなことから、令吉先生とは初対面の時からすぐ親しくなれたのを覚えています。加藤令吉先生は450年の歴史を持つ瀬戸窯の22代であり、現在では名実ともに瀬戸を代表する陶芸家です。鈿先生は蝶や孔雀をモチーフにされたり、斬新な色合いで陶芸の世界に新しい風を吹き込まれた方と伺っております。令吉先生は偉大なお父様の後を受け、試行錯誤されたと拝察しますが、ご自身の作風を確立され常に新しい色合いなどに挑戦されています。私がお世界に詳しいわけではありませんが、彼と知り合ったおかげで、陶芸の

<b>Today</b>	3月25日（第2266回）
担当	伊藤正征 プログラム委員長
演題	会員卓話 川口信義君、加藤春視君、稲垣秀樹君
<b>Next Week</b>	4月 8日（第2267回）
担当	高山 敏 50周年記念行事実行委員長
演題	50周年記念式典リハーサル

世界の一端を知ることができました。西洋でもこの日本でもアーティストが育つ土壌には芸術家たちを周りで支えるいわゆるパトロンたちがいました。今の日本では希薄になっています。今日の卓話で陶芸などアートの世界にもう一度触れていただくきっかけになればと思います。それでは加藤先生、よろしくお願いいたします。

Secretary Report

加藤 徹 幹事

- 1 次週3月18日(月)は春分の日の振替による休会です。
- 2 鈴村與左衛門君に国際ロータリー第2760地区2019-20年度会員増強委員会委員の委嘱状が参りました。
- 3 臼井幹裕君に国際ロータリー第2760地区2019-20年度職業奉仕委員会委員の委嘱状が参りました。



- 4 児玉憲之君に国際ロータリー第2760地区2019-20年度国際奉仕委員会副委員長の委嘱状が参りました。



- 5 大竹敬一君が第2回米山功労者に寄付されました。

大竹敬一 会長

今日の卓話は瀬戸の加藤令吉先生です。よろしくお願いいたします。

ニコボックスの皆さん、お疲れ様です。

家田安啓 副会長

東北大震災から8年です。我々にとっては早いですが、復興はまだまだです。応援を続けましょう。

上田博行君

過日、加藤文彦君、遠いところまでお疲れ様でした。終活の一環として、行政書士業務を廃業いたしました。不動産業務は継続します。

山田幸治君

ニコボックス賞を戴きました。

栗木和夫君

宮崎ゴルフ遠征に参加の皆さん、お疲れ様でした。ドラコン2個、やったぜ。

前田重廣君

今年も河津さくらが満開でした。

田中正博君

3月9日(土)に会長エレクト研修(PETS)1日受けました。ロータリーは奥が深いです。少しずつ勉強して頑張ります。

山田幹夫君

ゴルフ部宮崎遠征、大変楽しかった。同行の皆様、お世話になりました。伊藤ペンチャン、ご苦労様でした。東海君、お世話になりました。

山田尊久君

名古屋東南RC創立50周年記念のオーケストラ演奏会に行きました。指揮者の松尾葉子さんのきびきびとした話術に引き込まれました。

後藤裕一君

横井君、紅葉有り難うございました。

池崎晴美君

昨日、名古屋ウィメンズマラソンに出場しました。雨の中、42.195km何とか完走。本日体が痛くて真っ直ぐに歩けません、達成感で一杯です。

板津和博君

ゴルフ部宮崎遠征ご参加の皆様、お疲れ様でした。楽しかったです。大変お世話になり、有り難うございました。

伊藤英毅君

昨日は孫の5歳の誕生日を祝いました。大きくなるまで世の中が美しくあります様に。合掌。

伊藤正征君

あまRCゴルフ部宮崎遠征参加の皆様、お疲れ様でした。トラブルもなく、楽しい旅となりました。

北野庸夫君

前重君、奥様、何時も有り難うございます。感謝！  
あまRCゴルフ会宮崎に連れて行ってもらいました。  
ペンさん、西川君、お世話になりました。

黒野晃太郎君

藤田クリニック定期健診、問題なしとのこと。感謝。

水野 眞君

東日本大震災の日です。合唱で8人で組んで陸前高田へ慰問に行ったことを思い出します。

水谷安紀君

ニコボックスの皆さん、ご苦労様です。

**合 計 37,000円**

卓 話

「陶芸家が語る私の職業奉仕」

瀬戸ロータリークラブ

パストガバナー補佐 加藤令吉君



本日の演題は職業奉仕としての陶芸です。まずは自己紹介させていただきます。私は約450年の間、やきもの送りをしている家の22代目です。現在は自宅陶房において作品を製作活動をすると同時に、日展を始めとする展覧会の審査員を務めたり、大学の講師を勤めております。さて、私も皆様と同じロータリアンです。瀬戸RCでは会長を、また東尾張分区ではガバナー補佐をさせて頂きました。瀬戸RCは本年60周年を迎えます。クラブに於いては、私を含め5名の日展審査員が在籍していました。全員がパスト会長で現在は2名です。当時は職業分類も厳しく、「陶芸家」「陶工芸」「手工芸」等々、知恵を絞って職業分類を開設したようです。その先輩作家達の過去の業績を記念誌等々で調べてみますと、各周年行事年の記念品はもとより、記念事業におけるモニュメントの制作や陶壁を「ロータリーの友情」として制作されていました。また、近隣RCのチャーターにおいては、バナーのデザインをする等、作家としての奉仕活動を重ねていたようです。現在は我がクラブには4名の陶芸家が在籍していますが、祝事の記念品を手分けして製作したり、ゲストに対する品も協力して製作しています。これらの活動を陶芸家としての職業奉仕の一環として抱えています。もちろん各自それぞれが実績を重ね、作家として成長する事も奉仕活動でしょう。

さて、話は変わりますが、昨今の中から以前のように陶芸が注目されなくなりました。それは何故でしょう？「断捨離」、これが始まりです。終活だの身仕舞いだの言葉がマスコミから発信され、より敏感な奥方達が言葉に反応され実践され始めているのが現実です。文化センターでも指導していますが、男性の受講者の口からは「あまり沢山作るとカミさんに叱られる」と言います。これでは楽しみも半減、教室の行く末も心配ですね。一方では心豊かな生活をしましょう！という声もあります。気に入った器で食や酒を楽しむ。いわゆる至極の時です。家庭料理のみならず、外で食べる食事についても、サービスする店の意識が反映されます。当然一年の内には四季があり、時の食べ物も変わります。それを盛る器にも四季があります。せめて家庭の中では飯椀と湯呑みくらい春夏秋冬と使い分けたいかがでしょう！茶の湯の世界にもそれは守られています。やきものは使う事によって育つ物です。つまり自らの手で育てられるのです。古陶の名品は戦国武将もそうであったように、茶人によってその道を覚え、数々の名品を継承し

てきました。その茶道具は秘蔵されるのではなく、人から人へと渡り、伝承してきたのです。信長・秀吉は茶の湯の文化をととても大切にしてきました。戦の手柄の褒美に茶碗や茶入、水指を振る舞った話は有名です。この様に時代を超えてやきものは大切に使われ存在してきました。日本の誇るやきもの文化を廃らせる訳にはなりません。昭和・平成と約100年経ったいわゆる現代も間もなく幕を閉じ、新元号を迎えます。愛する日本の大事な文化やきものに対し、更なる理解をしていただくと同時に次の世代へもこの価値観を伝えて貰いたいと切望します。本日はご静聴有り難うございました。

## 委 員 会 報 告

### 「あま市ものしりジュニア選手権」

地域社会委員会

副委員長 稲垣秀樹君

平成31年2月17日（日）、七宝焼きアートヴィレッジ交流ホールにて、あま市ものしりジュニア選手権が開催されました。市内の小学生二人一組の26組が出場し、午前中の筆記テストを勝ち抜いた12チームが午後からの本選に臨む。〇×クイズで二人が力を合わせ優勝を目指します。

今回で5回目になる選手権ですが、あまロータリークラブとして今回初めて後援させていただきました。

「あまロータリークラブのことを知っていますか？」と子供たちに聞いてみたところ、誰も知らない様子でしたが、将来海部地区を背負う大人に成長してくれることを願い、青本社会奉仕委員長が挨拶をしました。



### 「街頭防犯カメラ贈呈式」

本年度50周年記念事業としての街頭防犯カメラを寄贈します。その贈呈式が2月28日あま市役所にて大竹敬一会長、高山50周年実行委員長、東海実行幹事、栗木記念事業委員長、加藤徹実行副幹事出席のもと行われました。津島防犯協会連絡協議会会長の村上あま市長より「安心安全な地域づくりにとってなくてはならないものでありとてもありがたい、これからも地域づくりにご協力お願いいたします。」と大変感謝いただきました。

